

いかわ

議会

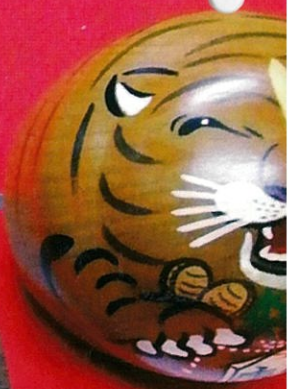
だより

No. 149

2022. 1. 1

新年号

謹賀新年



令和四年寅子



飯田川さぎまい工房

12月議会

(会期・12月7日~10日)

年頭のあいさつ	2	3議員一般質問	5
第4回定例会	3	臨時会・全員協議会など	9
常任委員会	4	私のひとこと・議会のうごき	10

議長年頭あいさつ



議会改革の推進

議長 遠藤 政勝

年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年も大きな災害もなく、穏やかな一年になってほしいと願っております。昨年は新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮した年でもありました。それでもワクチン接種が進み感染者が激減して、現在、県の感染警戒レベルは2となっております。

さて、忘れてはならないのが、令和二年県出身者として初めて首相となった菅義偉氏です。一年間で脱炭素社会の実現に向けた取り組み、デジタル庁の創設や携帯料金の引き下げの実現、そして新型コロナウイルス対策では縦割り行政を改革し一日百万回ワクチン接種を一気に進め、現在の感染症の減少に大きな成果を残したと思います。また地方創生の推進にも、大きな業績を残されました。本当にご苦労様と申し上げます。

議会の使命は町の具体的な施策を最終的に決定すること、議会が決定した改革を中心に行なう、町の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施がすべて適法・適性に、しかも公平・効率的に、民主的になされているかどうかを正しい意味での批判し監視することです。これは地方自治法の根幹でもあります。

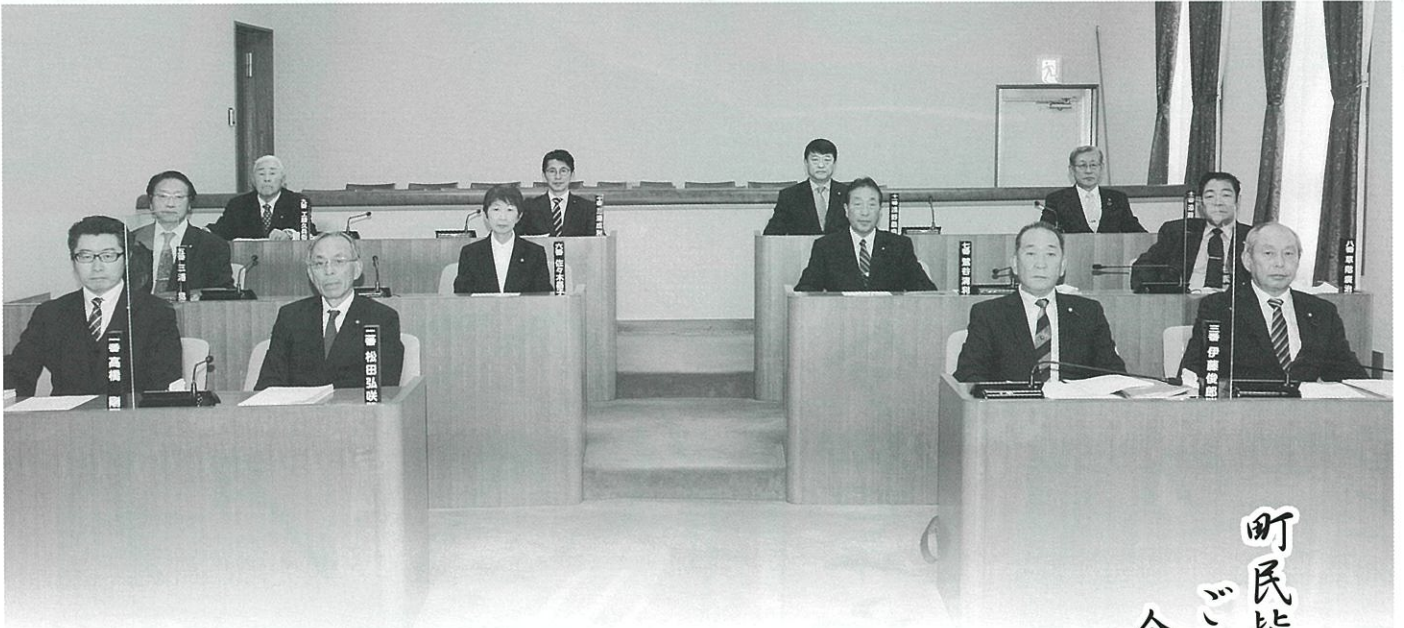
今年も町と両輪で、小さくとも安全安心で住みよい町づくりに努めます。

議会では昨年からの、議会改革検討委員会で議会基本条例の制定、タブレット導入等について検討を進めております。

又、今年度は議員定数と報酬についても検討委員会を立ち上げ、結論を出す予定です。

議会は皆様の福祉を考え、皆様の立場に立って判断をしながら活動をしてまいります。

結びに、新しい年が一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、従来の生活に戻る様に、そして皆様にとって幸多き年でありますよう、心からご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします

今年もよろしく

お願いいたします



議長 遠藤 政勝
副議長 浅野 義幸
議員 高橋 剛

” 松田 弘 咲

” 伊藤 俊 郎

” 石井 茂

” 三浦 晃

” 佐々木 昌子

” 鷺谷 清利

” 草階 廣治

” 工藤 久兵衛

” 三浦 成利

” ”

” ”

事務局長 鷺谷 康之

(議席順)

灯油購入助成、町民税非課税世帯に 1世帯当たり1万円支給

第4回定例会は7日～10日の会期で開かれ、一般会計及び特別会計・水道会計の補正予算等8件を原案どおり可決。

条例の制定は2件で、うち1件は過疎地域に於ける製造業等進出する場合の固定資産税免除。もう1件は下水道特別会計を地方公営企業法会計に移行させるもので2件とも原案どおり可決。

条例の一部改正も2件で、うち1件は特定教育・保育施設等の運営基準の一部改正と国民健康保険条例の一部改正で出産育児一時金等の支給額の内訳を見直すもので2件とも原案どおり可決。干潟橋の変更請負契約(減額)の締結で原案どおり可決。

また、陳情6件のうち、1件は継続審査で残りの5件を採択とし、地方税財源の充実を求める議員発議は1件で、それぞれの意見書を関係機関に提出することにした。

令和3年度一般会計補正予算は6,870万円を追加し、31億8,290万円とした。

歳出の主な内容は福祉灯油助成事業、子育て特別給付金、「いかわさんといっしょ」看板作成委託、税や児童手当に係る町村電算システム負担金、新型コロナウイルスワクチン接種関連予算、下水道事業特別会計繰出金、道路舗装工事、農村環境改善センター周辺工事(駐車場整備工事)等の追加及び人件費、敬老式典費の減額となっている。

歳入の主なものは前年度繰越金961万円、特別交付税187万円、子育て世帯に対する特別給付補助金2,420万円、新型コロナウイルスワクチン接種補助金・負担金1,101万円、後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金返還1,495万円等の追加となっている。

令和3年度 各会計歳出予算表(12月補正)

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額	主な内容	
一般会計	6870	31億8290	人件費	△ 412
			看板作成設置委託	253
			町村電算システム負担金	116
			敬老式典費	△ 131
			障害者福祉費	170
			国保会計繰出金	179
			老人福祉センター管理費	122
			子育て特別給付金事業	2438
			保健対策推進費(コロナワクチン接種)	1101
			清掃費(消耗費)	125
			下水道会計繰出金	585
			道路舗装工事	102
			農村環境改善センター周辺整備工事	832
			福祉灯油助成事業	530
国民健康保険事業特別会計	△ 130	5億2968		
診療所特別会計	△ 8	1億479		
介護認定事業特別会計	39	3228		
下水道事業特別会計	585	2億4975		
水道事業(収益的支出)	196	1億2240		
水道事業(資本的支出)	84	3982		

(千円以下切り捨て)

農村環境改善センター前整備

〈駐車場(車43台)・駐輪場(自転車6台)設置〉

主な審査の内容

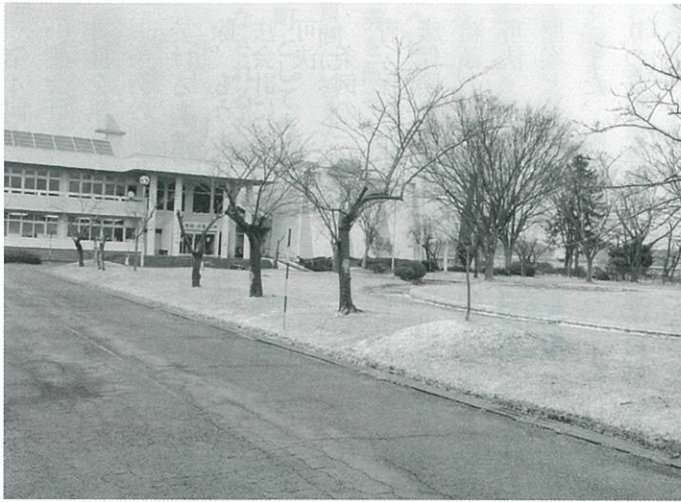
総務課

問 職員のストレスチェックは、様々な質問に当てはまるか否かをパソコン上でチェックを付けていくものか。また、医師による診断の可否を判断する材料にできるものか。

答 パソコン上で回答し、ストレス具合を測るもの。チェック結果に基づいて個々の状態を把握し、診療所の医師で足りるか、専門医に相談するべきかどうかは今後検討する。

問 大台防災センターの屋根に雪止めが付いているが、積雪量も多い地域であり、積雪荷重に対応できる設計となっているか。

答 屋根に雪止めを付けないと、落雪により窓ガラスに支障をきたすおそれがあるためである。屋根の荷重対策は、積雪を見込んだ設計となっており問題はない。



一部駐車場化する広場

問 横岡防災センターでは、駐車場からの雨水等が通路に流れ込み、凍結時には事故が心配である。

答 町内からの要望等を話し合った結果であるが、町内からの要望があれば対策を検討する。凍結対策として融雪剤を常置する考えである。

産業課

問 県営造成施設等の突発事故(コルゲート管破損)の原因と場所はどこか。

答 田代堤より数百メートル下ったあたりである。破損の原因は、管が腐食して穴が開いたものと認識している。破損箇所は1箇所幅は2〜3メートルである。

健康福祉課

問 コロナワクチンの3回目接種実施は遅らせて実施との説明があったが、人員の配置やワクチンの納品状況等は1、2

回目と比べ滞りなく接種体制は整えられているか。

答 3回目の接種については、町で医師会に依頼し日程調整をしている。ワクチンの納品は、現在確定しているのがファイザーの1箱(1,170人分、1本当たり6人)のみであり、今後の納品については未定である。国からはモデルナの使用をすすめるよう指示がきている。

教育委員会

問 公民館前に設置予定の駐輪場は白線を引くだけか。

答 屋根を備え付けた既製の構造物として設置する予定であり、自転車6台を駐輪できる駐輪場を設置予定。

町民生活課

問 特定検診受診率向上支援事業は病気の早期発見のための事業だが、行わないことに対するフォローのような事業はあるか。

答 当町では町の検診のデータがあり、同事業と同様の事業は実施している。

問 駐車場に電気自動車用の充電器は設置できないか。

答 検討はしたが、設置費を含めた年間の維持費が高くなるのと、利用した場合の料金の徴収の手間などを考えた結果、現段階では設置する判断には至らなかった。今後必要があれば設置も可能である。

3人の議員 一般質問

定例会初日（12月7日）に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問した。（質問順に掲載）

P6	<p>鷺谷 清利 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 職員個々の保有する能力を最大限発揮するためには 「光を追いかけて」を町の活性化に繋げては
P7	<p>三浦 成利 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 町施設感染症抗菌対策状況について 中山間地域の活性化について
P8	<p>石井 茂 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 就学援助について 灯油代補助について 有害駆除について 米価下落対策について

白抜きの数字は掲載された質問です。紙面の都合により掲載できなかった質問など詳細は議事録で見ることができます。
議会事務局にお問い合わせ下さい。

◆ 一般質問とは ◆

一般質問は、町の行財政全般に関し、執行者所見や疑義について質問できるものである。

質問する議員も受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制を採用し、事前に質問内容を通告することとしている。

井川町では、質問時間は、1人につき30分以内で完了することとされている。

質問は、時間内であれば再々質問までとされている。

一般質問

職員の能力を引き出すには

職員との対話と経験値を重視



きよとし 清利 議員
や 鷺谷

鷺谷

多種多様な行政課題が発生した場合、迅速に解決する職員の問題処理能力の向上が不可欠である。

そのために職員は広い視野と柔軟な思考力で成果を出していく気概が必要である。

町長は職員の個性や適性を見極め、適正配置して能力を最大限に発揮できる環境を整備しなくてはならない。

職員が仕事にやりがいを見いだし、高い意識を持続させるためには決断力、政策形成能力、指導育成能力、企画提案能力、説明調整能力、職務遂行能力等を適切に評価する

人事評価制度を導入したかどうか。

町長

既に導入済みである。人事評価を通じて職員に「気づき」を与え、能力向上、人材育成に繋げることが非常に重要だと理解している。



行政サービス向上のため自己研鑽に励む職員

年代や役職にこだわらず、職員が向上心を持って各分野で経験値を積み重ねていくことが重要である。役場組織の成熟が地域住民の行政サービスの向上に繋がる。これか

らも職員の資質向上を図るため取り組んでいく。

鷺谷

人事評価の指針の一つとして論文等を提出してもらう方法はどうか。たとえば、「国

連憲章SDGsについての私の信条」等テーマにして考えを聞いてみるのも一案ではないか。

町長

現在も上司と部下の面談を実施し

て、組織づくりを図っている。今後も論文ではなく口頭でしっかりと言い合える組織風土を作り上げていきたい。

「光を追いかけて」を町の活性化に繋げては

聖地巡礼要望にICTを活用して魅力発信中

鷺谷

映画を町の活性化に繋げてはどうか。SNS等の情報通信を駆使して、井川町が映画のロケ地であることや町の魅力を発信して知名度を高め、「井川町に行ってみよう」という申し込みがあった場合、受け入れ態勢を整えてはどうか。案内箇所は旧小学校を含む映画のロケ地、日本国花苑、みなくる、里山の景勝地などのコー

なつた旧小学校の体育館、教室等を存続しながら各種イベント(フリーマーケット・映画観賞会等)、各家庭に眠るお宝展示コーナー、趣味の部屋、軽食コーナー等を設置して町民及び観光客に対応してはどうか。

町長

映画の公開を契機として「いかわさんといっしょ」という企画でホームページやインスタグラム、冊子等を活用して町

の魅力を発信している。また、映画の聖地巡礼の要望に応じて、ロケ地8か所のQRコードで、監督、出演者のフリートーク映像も提供している。

旧小学校の活用は、どの様な方々を対象に何をやるかが重要。全国的に失敗例も多々ある。

ストーリー性のある食事提供があれば一考に値するが、単なる軽食コーナー等ではお客さんは来ない。

一般質問

中山間地域の農業は 一歩ずつ前に進めたい



なりとし
成利
議員
みうら
三浦

三浦 食糧生産の場として重要な役割を担う中山間地は、傾斜地等の条件不利性ととも鳥獣被害の増加等、厳しい状況に置かれている。女性や高齢者を含め経営規模の大小にかかわらず意欲を持った前向きな町民が活躍でき、多様な経営を営み、中山間地を元気にしていく必要がある。中山間地域の農業戦略を伺う。

町長 課題というのは基盤整備が行われていない農地が多い、生産条件が不利な場所が多いところである。鳥獣被害も近年は増えてきているという大きい課題もある。

中山間農地維持支援事業として町単事業で借り受けした者に対して補助を出した。

条件不利な圃場を整備する基盤整備をどう進めていくかが我々に課された課題だと思っている。今後も土地改良区や県、農協、関係町民との協議を重ねていく。

簡単には進まないと思いつつも一歩ずつ前に進めていきたい。特に水利面については町がそうした支援していかないと農業者の負担だけでは物事が成り立っていない段階にきている。今後しっかりと対応を進めていきたい。

新たな作物をやるという場合には我々にもお声掛けをいただければ、一緒になって取り組んでまいりたい。

鳥獣被害防止取り組み強化は、効果的な施策が見いだせない現状で、効果があるものがあれば、順次導入をしていきたい。

町施設感染対策は 柔軟な対応を引き続き



まだ自動水栓化されていない町の施設

三浦 町施設の現状、また他の県のように設備を増やしていくか。

町長 感染症対策として各公共施設に非接触型の体温計、アルコール噴霧器を設置し、初期対応として検温や消毒の徹底、ハンドソープやペーパータオル等を洗面所トイレに設置して、こまめな感染予防をお願いしてきた。

町職員、会計年度任用職員、学校においては、先生、消毒員の配置を行いながら手すりやドアノブなど多数の方が触る場所等、定期的に除菌をする対応をしている。

自動水栓については、内部検討したが、災害時停電等が起こった場合使えないという事情もある。その代わりハンドソープやペーパータオルをしっかり設置して、こまめな手洗いで対策をしていこうということで見送った。

三浦 今後のコロナワクチンについては。

町長 集団接種を計画している。冬季間の転倒防止ということもふまえながら、通常の方は3月上旬開始したい。5歳から11歳は承認が出れば進めていかなければならない。

一般質問

町独自の灯油代補助を早く

財源の担保が必要



いしげる 茂 議員
いし 石井

石井 原油の高騰により、ガソリン・灯油などが値上りし、町民生活の様々な分野に甚大な影響をもたらしている。国や県でも補助する方向で考えているようだし、町としても検討に入っていると聞く。

12月1日の定例議会で小坂町の町長は、「非課税世帯などの区別なく、全世界帯へ早期に一万分分の灯油券を配布したい」と一般質問に答えたそう。

当町としても灯油代補助はなされるものと確信しているが、対象者・補助額・実施日が問題となる。町独自の政策を一日でも早く実施すべきと考えるが。

町長 県において、灯油の購入助成費用が県議会に追加提案される。内容は、住民税非課税世帯に対し一世帯当たり5千円の2分の1。

これを受け本町としては、住民税非課税世帯に対し1万円の補助を考えている。今定例会に追加提案したい。(福祉灯油)

国でも補正予算の審議が行われていて、『地方創生臨時交付金』が交付される予定。こういうものも活用しながら、原油高騰の影響も踏まえた経済対策を検討する予定。

石井 国や県の動向を見定め、町独自の施策を一日でも早く実施すべきではない。

町長 財源の担保をしたうえで政策決定している。市町村によって議会の日程が違う。決して遅いとは思っていない。

10a当り2千円の補助を

必要な支援はする

石井 令和3年度産米の米価が暴落している。私の試算では、主食用米で約1億4,200万円。加工用米・備蓄米で約5,800万円、井川町全体で2億円近い減収となる。

11月24日、議会と町農業委員会との意見交換会を行った。農業委員会として11月17日付で、所得が減少した農業者に対して、幅広く支援していただきたい旨の要請書を提出しているとのこと。

まったく同感だ。農家の生産意欲が大分低下している。県外自治体では独自の支援策を決定している所がある。全水稲作付面積930haに、種子代・農薬代として10a当り2千円の補助をしてはどうか。

討論中。国や県の動向を注視しながら考えたい。ただ、今年度産の所得補償という考え方ではなく、次期作への支援ということで行いたい。

石井 独自支援している内容を見ると、主食用米・生産の目安目標に限るとか、上限を28haなど制限があるよう。ある程度の制限は必要と思うし、国・県の動向も重要だが、早期に実施することを発表しては。

町長 米価の下落により農家が苦慮していること、生産意欲が低下していることには非常に気を病んでいる。何らかの対応をしたいと現在検討中。

町長 必要な支援はしっかりするとうこととは今の段階で明言させていた。12月下旬開催予定の農業再生協議会で意見を伺いながら具体的な内容を決めたい。



ひこげえ 粃よ 今の農政 何思う

第3回

議会臨時会

10月12日

令和3年度井川町一般会計補正予算について

1000万円を追加し、31億1420万円とする。

【主な内容】

新型コロナウイルスによる、従業員雇用維持支援事業支援金834万円
全員可決

第4回

議会臨時会

11月29日

井川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について

一般職の給与改正に伴い、「井川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例」「井川町特別職の職員で常勤の職員の給与及び旅費に関する条例」に係る期末手当

の支給率を100分の10ずつ引き下げる。また、令和4年度以降については、6月及び12月に支給する期末手当の支給率を100分の5ずつの引き下げとする。

全員可決

井川町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

一般職の職員の期末手当の支給率を100分の10引き下げる。また、令和4年度以降については、6月及び12月に支給する期末手当の支給率を100分の5ずつの引き下げとする。

全員可決

井川町議会改革検討委員会始動

10月27日、第1回井川町議会改革検討委員会を開催。委員長に石井茂、副委員長に三浦晃を選出。検討事項、スケジュール等について議論、検討事項は

- ①議会基本条例の作成について
- ②タブレット端末の導入について
- ③一般質問に一問一答方式の導入について

とした。2月中旬頃までに議会運営委員会に報告。3月末までに決定というスケジュールが決った。11月9日に第2回会合、12月中旬に五城目町議会（タブレット）視察が決った。

第5回全員協議会

12月9日、10時から12時までの2時間、全員協議会を開催した。主な案件と結果は次の通り。

- ①農業振興策について
- ・農業委員会との意見交換会について（議長報告）
- ・農業所得減の対策について
- ↓おって町に要望書提出
- ◎初穀対策など今後の課題について↓引き続き検討

- ②原油価格高騰について
- ・福祉灯油以外の補助について↓おって町に要望書提出
- ③意見書の提出について（議運委員長提案）
- ・県町村議長会からの「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求めろ」↓議員発議で意見書提出
- ・ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める↓引き続き検討

現地調査

11月18日、議員の要望を基に現地調査を行った。その後役場に戻り意見交換を行った。調査地と主な意見は次の通り。

- 旧小学校
- ・使える備品は有効利用

陳情

12月定例会に6件の陳情書が提出され、審査の結果5件を採択、1件を継続審査とし、関係機関に意見書を出した。

採択……賛成多数

- ◎辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情
- 「新しい提案」実行委員会
- 責任者 安里 長従
- 会長 阿部健太郎

すべきでは。彫刻など価値がある物はどうすべきか。

- 大台防災センター
- ・屋根の雪止めは必要か
- ・一目見て防災センターとわからない。
- 横岡防災センター
- ・凍結時の雨水対策は大丈夫か。

採択……全員一致

- ◎安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情
- 秋田県医療労働組合連合会
- 執行委員長 三浦 耐子

採択……全員一致

- ◎精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情
- 秋田県医療労働組合連合会
- 執行委員長 三浦 耐子

採択……全員一致

- ◎安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを
- 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- 会長 瀬田川榮一

街灯が見当たらなかつたが。

- 武道館・相撲場
- ・前回と比べ、整理されていた。
- ・基礎の亀裂を修繕しないのか。
- 湖東消防本部
- ・署内を見学。

国に求める意見書提出の陳情

- 秋田県春闘共闘懇談会
- 代表委員 三浦 耐子
- 秋田県労働組合総連合
- 議長 越後屋建一

採択……全員一致

- ◎介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
- 秋田県社会保険推進協議会
- 会長 佐藤 幸美

継続審査……全員一致

- ◎人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改定に関する陳情
- 秋田県社会福祉法人経営者協議会
- 会長 瀬田川榮一

私の

冬の桜



交通指導隊隊員 田中弘美



少しずつ、冬將軍の足音が聞こえてくる今日この頃、今年も井川さくら駅のイルミネーションが灯り始めました。ここ数年、寒い冬空中で、七号線の近くのこの駅前が色鮮やかに照らされていると、何故かワクワクしてきます。春の国花苑の桜満開の季節も圧巻ですが、駅前の桜並木もなかなかの華やかさです。桜の見どころは、日中のみならず、夜にシヨールアップされた姿もまた、何とも言えない非日常的で幻想的な世界へと、いざないます。そんな光景を見ていると、ふと自分の子供の頃の夜桜を思い出します。私は、大仙市(旧西仙

北町)の生まれで、実家は、農業を営んでいました。五月の耕起作業の合い間に実家から三十分程の角館の松木内川堤に立ち並ぶ夜桜を家族でよく見に行ったものです。とはいいつつも、小学生の頃の私は、夜桜を觀賞するよりも、出店のうどんや米どんなるどん菓子を食べる事の方が楽しかったです。そんな夜桜の思いに、さくら駅のイルミネーションをながめています。今年は更にプロジェクトナカイも映し出され、独特の光で、それがまた、心躍る演出です。何故、人は闇の中で、

光を求め、それに安心感を覚えるのでしょうか。きつと光は、希望を感じるからなのでしょう。人工的な電飾が自然の中で融合し、美しい光景に幸福感さえ思えるのは私だけでしょか。そのさくら駅前のコンビニの駐車場などで、スマホでイルミネーションを撮っている人達を見かけると、それは沢山の人の心を魅了しているという確かな証しです。昨年から今年にかけて今まで体験した事のないコロナ禍で、私達の普段の生活は一変し、様々な規制を強いられました。そんなご時世の沈んだ気持ちを一扫するような暗闇で光るさくら駅を見て、明日はきつと明るい朝が来ると。寒い冬が過ぎると、やがて暖かい春が訪れる、そんな思いをつなげていきたいものです。井川町民ならず、さくら駅を通り過ぎていく、沢山の人の光・希望となることを願わずにはいられません。

議会のうごき

- 10月12日 第7回議会運営委員会(役場:正副議長室)
12日 第3回井川町議会臨時会(役場:議場)
18日 秋田県町村議会議長会 正副議長会議、理事会(秋田市:市町村会館)
22日 井川町緑化並びに環境美化推進事業(記念植樹)(旧小学校駐車場)
27日 第1回議会改革検討委員会(役場:第2会議室)
11月8日 南秋田郡町村議会議長並びに事務局職員合同研修会(五城日町:五城館)
9日 第2回議会改革検討委員会(役場:第2会議室)
18日 井川町議会議員現場調査(町内)
22日 秋田県知事と町村議会議長との行政懇談会(秋田市:県市町村会館)
24日 農業委員会との意見交換会(役場:大会議室)
25日 秋田県関係国議員に対する要望活動(東京都:衆参議員会館)
26日 第65回町村議会議長全国大会・第46回豪雪地帯町村議会議長全国大会(東京都:明治記念館)
29日 第8回議会運営委員会(役場:正副議長室)
29日 第4回井川町議会臨時会(役場:議場)
29日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会(湖東消防本部)
30日 第9回議会運営委員会(役場:正副議長室)
12月1日 議会だより編集委員会(以降4回)(役場:小会議室)
7日~10日 第4回井川町議会定例会(役場:議場)
9日 第5回全員協議会(役場:大会議室)
12日 秋田県森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会定例総会(秋田市:イヤタカ)

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。日頃より皆様には、多大なる御理解と御協力を賜り心より感謝を申し上げます。議会だよりが皆様に見やすく、分かりやすくありますようにと編集委員一同、今後とも全力で取り組んで参ります。新しい年が、皆様にとって幸多い年でありますようにお祈り申し上げますと共に、今後ともよろしくお願い致します。(佐々木昌子 記)



発行責任者 遠藤 政勝
編集委員長 鷲谷 清利
副委員長 佐々木昌子
委員 石井 茂
委員 伊藤 俊郎
委員 三浦 成利
委員 高橋 剛